

### 長井坂、熊野古道大辺路

熊野古道は紀伊半島を横切る古くから続く参詣道で、その一部は「紀伊山地の霊場と参詣道」としてユネスコの世界遺産に含まれています。環境の多様性と近くの駅からのアクセスの良さからも、大辺路は最も人気のあるルートの一つです。急勾配の長坂道は 350 メートルまで一気に登り、そこからは串本町の沿岸や黒島が望めます。この道はウバメガシの森を抜けて走っています。ヤマザクラやヤマモモ、アザレアが道に沿って生えています。そのほとんどは自然の林道ですが、短い一部は段築として知られる、成形され突き固められた土からできた簡単な道になっています。このような道がこれほど良い状態で昔から残っているのは珍しいことです。

仏教と神道が一体となった熊野信仰の巡礼者は、こうした林道を平安時代（794~1185）の頃から歩いていました。熊野の地域は神々が大地に住う神聖な場所と考えられていたのです。熊野古道は紀伊半島を横切り、熊野三山として知られる熊野の三大大社に繋がります。

長井坂は大辺路の 4.5km にわたる部分です。大辺路は距離海岸沿いの道で、和歌山県の西にある田辺から和歌山県の南東にある那智勝浦の浜の宮を繋いでいます。